

ふれあい

～令和3年12月1日発刊～



病院理念

『より質の高い 心あたたまる医療の実現』

基本方針

1. 患者様の人権を尊重し、十分な説明と同意のもとに安全で良質な医療をめざします。
2. 地域の基幹病院として医療機関との連携を促進し、地域医療の向上に努め、地域住民の健康維持に貢献します。
3. 救急医療と小児医療及び周産期医療の充実を図り、地域住民が安心できる医療を提供します。
4. 自治体病院として公共性を保ち、効率的な病院経営に努めます。
5. 職員は専門職としての誇りと目標を持ち、常に研鑽して知識と技術の向上に励み、チーム医療を推進します。
6. 働きがいのある職場として環境を整備し、明るい病院づくりをめざします。

院内広報誌『ふれあい』

患者様ならびにご家族の方々に病院をよく知っていただき職員と患者様の交流の場となる誌面をめざしています。

千歳市北光2丁目1番1号
市立千歳市民病院
編集長 大田 光仁
事務局 総務課
0123-24-3000(内線 8232)

冬季に流行するこどもの疾患について

●インフルエンザウイルス

1. インフルエンザウイルスについて

インフルエンザウイルスによる感染症です。A・B・C型の分類があり感染力は強く、症状発現1～2日前から感染性があるので、流行期には日常的な対策が重要となります。

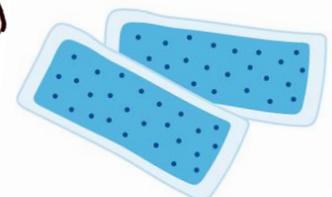
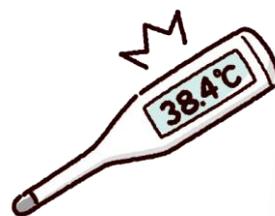
潜伏期間は1～3日で、発症前日から発症後7日間は感染する可能性があります。とくに発症後3～4日間は高い感染力があります。

主な感染経路はくしゃみやせきなどの飛沫感染や、感染者との接触感染となっています。

2. 症状について

寒気、発熱、頭痛、関節痛、筋肉痛が突然現れ、続いてせき、鼻水などの症状が現れます。

また、吐き気や腹痛などの消化器症状も現れることもあります。熱は合併症が無ければ2～4日で解熱していきます。



3. 予防方法

- ワクチンの接種
- 手洗い、アルコールによる手指消毒
- マスクの着用 ○ ○ ○

2歳未満の子どものマスクの着用は
窒息や体調悪化の恐れがあるので
しないほうが良いと
されています

●ノロウイルス感染症・ロタウイルス感染症

1. ノロウイルス感染症・ロタウイルス感染症について

ロタウイルス・ノロウイルスなどの感染により腹痛・嘔吐・下痢などの胃腸炎症状が生じます。主な感染経路は経口感染で、感染力が非常に強く、学校・施設・病院での集団感染を引き起こします。

また、感染者による食事の調理や、便・吐物の処理をする際の二次感染が多いです。

2. 症状について

(1) ノロウイルス感染症

1～2日の潜伏期のあと、突発的に吐き気・嘔吐から下痢を発症し、発熱を伴うことがあります。

症状は半日～2日であり、長くても4～5日で軽快します。



(2) ロタウイルス感染症

1～2日の潜伏期のあとに、急激な発熱・嘔吐に続き、下痢症状（白っぽい便が特徴）がみられます。

症状が強いのは生後0日から1歳未満までの乳幼児であり、年長の子も以降は感染していても、上記のような症状を発症しないことが多いです。症状は数日から1週間ほどで軽快します。

3. 予防方法

(1) 一般対策

- 料理の前の石けんによる手洗い
- 症状消失後も2～3週間は便中にウイルスが排泄されるため、便の処理後は必ず石けんによる手洗いを実施しましょう
- 家族の中で嘔吐や下痢をしている方がいる場合は可能な限り、食器やタオルの共用を避け、便座、トイレの水流れ、レバーやドアノブなど多くの人に触れる場所をこまめに消毒しましょう
- 消毒について、アルコールは効果がないのでミルトンなどの次亜塩素酸で行い、処理後の手洗いを入念に行いましょう



(2) 吐物の処理と対応

汚物の拭き取りはできるだけ紙を使用し、ビニール袋に密閉し捨てましょう。

(3) ロタウイルスワクチンの接種

ロタウイルスはワクチンがあり、胃腸炎の重症化を予防することができます。接種の対象は2か月～4か月の乳児となっていますので、希望される方は時期を逃さず接種をしましょう。



※ 胃腸炎を発症したお子さんの対応で注意すること ※

- 胃腸炎を発症した時は脱水になりやすいため、嘔吐が強くなく、水分が摂れる時には「OS-1」などの経口補水液での水分補給を進めましょう。
- お子さんの食欲が出てきたら、野菜スープや味噌汁、おかゆ、うどんなどの消化の良い食事から開始しましょう。
- 母乳は禁止する必要はありません。
- 飲み物が飲めない、食事がとれていない、元気がない、ぐったりしているなどの症状が続くときは早めに病院を受診しましょう。
- 頻回な排便により肛門部が赤くただれてしまうことがあります。

ただれを予防するために、温かいお湯で便を流したり、水を含ませたおしりふきなどで優しく便を拭き取るようにしましょう。

それでも改善しないときは病院を受診し軟膏を処方してもらいましょう。



●RSウイルス感染症



1. RSウイルス感染症について

気道感染症の非常に一般的な原因でほぼすべての小児が4歳になるまでに感染し、多くは1歳になるまでに感染するといわれています。

主な感染経路はくしゃみやせきなどによる飛沫感染や、感染者の接触部を触るといった接触感染です。

感染しても完全な免疫が得られるわけではないため、大人も再感染することがあります。症状は1週間から長くて3週間を要するといわれています。

2. 症状について

鼻水、鼻がつまる、せき、のどの痛み、声がかれるといった症状が出現します。

3. 予防方法

家庭内での感染を広げてしまわないよう、手洗いやアルコール消毒を徹底して行いましょう。



～ お子さんの苦しい状態を少しでも楽にするために ～

3歳ころから大人が手伝うことで鼻をかむことができますが、それ以前の小さいお子さんは綿棒や吸引器を用いて鼻水をとってあげることで、呼吸がしやすくなり、楽になります。

また、水分摂取が可能であればできるだけ水分補給を進めましょう。喉の痛みもあり、飲み込むことを嫌がる場合もあるので、スポーツドリンクやジュースなどお子さんの好きな飲み物を少しずつ飲むようにしましょう。



以上の内容を参考にいただき、感染症にかかってしまわないよう頑張りましょう！

<編集後記>

今回は、小児の感染症について書かせて頂きました。

これから本格的な冬を迎え、インフルエンザ等の感染症が増えてきます。感染予防をしっかりと行い、体調を崩さないよう健康管理に気をつけてお過ごしください。

3階東病棟 坂本
リハビリテーション科 森

患者様の権利と責任

当院では、患者様の人権を尊重し、患者様と医療従事者が信頼と協力のもと、より質の高い心あたたまる医療を実現するため、『患者様の権利と責任』を定めています。

1 医療を受ける権利

どなたでも公平に、安全で適切な医療を継続して受けることができます。

2 知る権利

ご自分の病状や検査、治療について、理解し納得できるまで十分な説明を受けることができます。また、ご自分の診療録(カルテ)の開示を求めることができます。

3 自分で決定する権利

十分な情報提供を受けたうえで、ご自分の意思により検査や治療に対する同意や選択、拒否を決定することができます。

また、他院の医師の意見(セカンド・オピニオン)を求めることができます。

4 プライバシーの権利

診療の過程で得られた個人情報や病院内での私的なプライバシーが保護されます。

5 参加と協力の責任

これらの権利を守るため、患者様には医療従事者とともに医療に参加し、協力することが求められます。

- ① 現在の病状や過去の治療歴について、できるだけ正確に教えてください。
- ② 検査や治療は、必要性和安全性を十分理解したうえで受けてください。
- ③ 他の患者様の権利を尊重し、職員の業務に支障をきたさないよう、病院内のルール・マナーを守ってください。
- ④ 医療費の請求を受けた時は、速やかにお支払いください。
- ⑤ 臨床研究や医療従事者の教育にご理解のうえ、ご協力をお願いします。

『患者様の権利と責任』について、何かご意見がありましたら承りますので、ご遠慮なく医師、看護師、その他の職員もしくは【患者様相談窓口：1階医事カウンター①番窓口】までお知らせください。

患者様からいただきましたご意見を尊重し、日常の診療の改善に役立てたいと考えておりますので、どうぞよろしく申し上げます。